

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課（電話番号）	西区市民部地域振興課（641-6926）
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市西野地区センター	所在地	札幌市西区西野4条2丁目8番30号
開設時期	1992年5月17日	延床面積	1,529.48㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール（体育室）、娯楽室（2室）、集会室（2室）、和室（2室）実習室（調理室）、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市西野地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括 管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 平成26年度の「札幌市の公共施設のあり方に関する提言」に沿った理念のもと、コミュニティ施設としての役割を果たすため、以下の通り運営方針を策定した。 西野地区センターは「笑顔があふれ心のふれあう豊かなまちづくり」に寄与するため、 1 地域文化の情報が得られ、発信する場として 2 幅広い生涯学習の機会が得られる場として 3 地域住民がふれあい、自主的な活動が促進される場として コミュニティ施設の効用を高め、更なる地域への浸透を図ることを運営の基本とした。	・施設の効用を最大限発揮し、札幌市の公の施設であることを常に念頭に置き、施設の設置目的に資するようサービス水準の維持向上に努め、安定的な管理運営及び透明性の確保を第一とした。 ・趣旨に沿った新たな事業も行い地域への浸透を図ることができた。	A B C D 基本方針に基づき、適切に管理・運営が行われており、要求水準を満たしている。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「札幌市区民センター条例」等を十分に理解し遵守することはもとより、年齢構成の違いや、子育て、障害のある方のニーズなど、多様化する地域ニーズへの細やかな対応により、利用の公平・公正を確保したことで、新規利用の幅を拡大することができた。	・求められる市民ニーズが変化している中でも、HPや窓口での丁寧な対応で利用のルールの理解は得られた。皆、等しくサービスが受けられるよう公平・公正の確保に努めた。	
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 札幌市の環境方針に従い実践した。特に西区においては、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮の取り組みを推進している区でもあるので、組織をあげて実現に向け取り組んだ。 ▼電気、ガス、水道の使用は日頃から節約に努め、使用していない貸室の消灯及び冷暖房の使用停止の徹底、設定温度の管理は札幌市に準じた省エネ対策を実施するなど、利用者の理解と協力を得ながら進めた。 ▼アイドリングストップの呼びかけにも努めた。 ▼清掃用洗剤やトイレトーパー等は、環境負荷の少ない製品を継続し使っている。 ▼小学生の社会見学の際には、実際に取り組んでいる話を盛り込むなどして、環境問題に関する啓発・教育活動の推進に努めた。 ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。	・利用者の理解と協力を得ながら、職員全員の共通認識の下、ロビーの節電やホール半面利用時はもう片方の半面は消灯するなど徹底した。 ・文化祭では、初の試みとしてフードロス削減販売の取組を行い、「もったいない」だけではなく、環境・経済・社会に与える問題を考える機会とした。	

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼地域の住民で構成される運営委員会を組織し、事務局に統括責任者として「館長」を配置している。常勤職員5名（図書館司書2名含む）、パート職員9名（図書2名、夜間受付4名、清掃3名）の計14名体制で運営を行っている。

▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を整備し、円滑な管理運営体制の維持に努め、適正な事務執行と責任体制の確立を図った。

▼職員体制の強化としては、夜間受付職員を昼間の時間帯に配置するなど、手薄な時間帯の強化を行い、流動的なシフト体制により組織体制の強化を図った。

▼職員の確保が難しい清掃職員について、勤務時間帯の変更と遅番の清掃時間を1時間増やすことで、職員の負担を軽減を図った。これにより、館内の美化整備も強化された。

▼職員の人材育成については、研修計画に基づき、常勤職員のみならずパート職員に対しても研修を実施し、組織としてのレベルアップを図った。

・組織の確立については、業務仕様書に基づき適切に対応した。

・交代制勤務による弊害が出ないように、職員間の情報共有を心掛け、情報伝達が不十分にならないように意思統一を図った。

・夜間受付職員が昼間の応援体制に入れるよう業務を遂行できることは体制強化に繋がった。また、当センターは清掃業務も委託ではないので、清掃が必要な時間帯に勤務変更も容易な場面があり、体制強化に繋げることができた。

・職場外研修の参加を積極的に行い、職員のモチベーション向上を促した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼一層の利用促進を図るため、利用者アンケートや市民からの意見を参考に、日常的に業務の見直し改善を行っている。

▼交代制勤務における事務引継ぎを徹底させるため、引継簿の様式等を改善し組織内の情報共有に努め、利用者に対し迅速かつ効率的に対応すべく体制づくりを行っている。

▼館内の清潔さと衛生環境を維持し、快適な貸室環境を提供するため、日常の清掃業務は第3者に委託せず当センターが雇用する職員で行い、年度途中には、実態に合わせてシフトの時間帯変更と勤務時間の延長を行うなど、細部に行き届いた清掃は高い評価を得ている。

・職員間の情報共有と柔軟な対応が管理水準の維持向上を図ることができた。

・利用者の意見や要望には真摯に耳を傾け速やかに対応し、館内外の安全確保や設備点検はこまめに実施した。

・地域振興課との情報交換やアドバイスを求めることで、安定した運営を遂行することができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

札幌市の承認を得て、主に設備の保守点検業務に関して第三者に委託して実施している。受託者に対しては責任者や指揮命令系統を明確にさせ、業務に関連する労働関係法令の遵守を指導するとともに、随時、検査・履行確認を的確に実施している。

・すべての業務において、業務仕様書に基づき適正に業務が確保された。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 8月1日	【運営協議会】 ・第1四半期の業務報告 ・今後の主な事業・行事等予定 ・利用者アンケート結果に対する対応について
第2回 10月23日	【札幌市との協議】 ・第2四半期の業務報告 ・施設の課題等の情報共有 ・西区からの連絡事項
第3回 1月22日	【札幌市との協議】 ・第3四半期の業務報告 ・施設の課題等の情報共有 ・西区からの連絡事項
第4回 3月24日	【運営協議会】 ・第4四半期の業務報告 ・7年度事業実施状況報告 ・利用者アンケート実施結果と対応について ・外部改修工事について
<協議会メンバー> 西町連合町内会顧問、西野連合町内会顧問（西野地区センター運営委員会会長）、利用者団体（札幌中国武術協会西野サークル役員）、利用者団体（NPO法人HRC代表）、札幌市西区地域振興課長、西野地区センター館長	

・会議では、事業報告や利用者アンケート報告、指定管理者業務に係る重点課題等について意見交換や協議を行った。運営協議会の協議内容については、施設内に掲示し、広く利用者に周知している。
・業務の遂行にあたっては、関係する地元町内会や団体と連絡調整を行い、身近な施設として良好な関係維持に努めている。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

現金出納簿、その他必要な帳簿を備え、収入・支出決定書等所定の帳票を用いて、正確かつ迅速な現金・預金管理事務に努めた。また、会計ソフトを導入して、毎月総勘定元帳や合計残高試算表を出力して、現金・預金との精査照合を行うとともに、資金管理・経理執行全般について、顧問税理士の指導・検査を受け、正確かつ公正な財務事務処理を行っている。
なお、資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施している。

・資金管理については、顧問税理士による点検・確認を得て正確性を期したうえで、運営委員会の監査を受けている。

	▽ 要望・苦情対応 ▼要望、苦情等があった時は、個人情報の取り扱いには十分留意したうえで迅速に対応し、職員間で情報共有している。 ▼匿名で意見や要望を提出できる箱を設置し、問題の早期発見、改善を促進するために利用している。 ▼札幌市に対する要望・意見や、札幌市の判断を要する案件は速やかに報告・相談し、その指示に従っている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ▼業務の実施に関する記録書類・帳簿等を整備し、保管、管理している。 ▼利用者アンケートを2月に実施し、調査結果は館内に一定期間掲示している。 ▼利用者アンケートとは別に、講座、事業の終了時にもアンケートを実施し、理解度や満足度を測り、今後の企画・立案に役立てている。 ▼札幌市の各種検査・監査について、誠実に対応している。	・利用者に対して親切・丁寧な対応に努めており、苦情・要望があった際は、迅速な対応を心掛けたことにより大きなトラブルになることはなかった。 ・管理業務に関する帳簿等を整備し、札幌市に定期的に報告するとともに、業務監査を受けているが、7年度において改善等に係る指摘はなかった。									
(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼職員に対し、最低賃金1,075円（令和7年10月1日発行）を上回る時給を支給した。 ▼職員の身分及び服務に関する事項は、労働基準法その他法令の定めにより、就業規則及び同運用規則、育児・介護休業規則、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規則を規定し遵守している。 ▼職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定（36協定）により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ▼定期健康診断を実施し、職員の健康管理に努めている。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施し、適宜、職場環境の改善に努めている。 ▼職員体制の強化を図るため、勤務時間を必要に応じて流動的にすることで、手薄になる時間帯を補強し職員の負担軽減を図った。そうすることで、計画的に休暇が取得できる環境づくりに努めることができた。 ▼労働災害はなかった。	・労働関係法令を遵守し、職員の雇用関係の維持に努め、職員のモチベーションの向上及び、雇用環境の整備を図ることができた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。</td></tr> </table>	A	B	C	D	関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。			
A	B	C	D								
関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。											

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）		A B C D
	▼利用者の安全確保について、緊急連絡網の整備・火災発生時・緊急時の避難経路の確保及び消防設備点検の励行などを通じ、非常時に備えている。 ▼事務室内の火災受信機器、防災盤の使い方について、日勤、夜勤問わず全職員に周知し、非常時における各自の役割分担を明確にしている。 ▼来館者の緊急時の救命措置のためAEDを備え。玄関、受付窓口に設置マークを表示している。 ▼施設周辺及び施設内に段差が多くあり、利用者には高齢者が多いため、安全確保を優先に、通路、玄関の安全確保に細心の注意を払っている。今年度は、玄関マット、ビニールごさの交換を行ったほか、特に雨の日は転倒などを防ぐため通路の確保に配慮した。 ▼損害賠償保険は仕様に適合したものに加入し、札幌市又は第三者に損害を与えた場合の不測の事故に備えている。 ▼拾得物の取り扱いについては、事務室内等に保管し、落とし主に返還している。現金等貴重品については、その都度警察に届けている。	・利用者の安全確保には万全の注意を払っており、定期的に館内及び建物周辺を巡回して、危険個所の早期発見と事故防止に努めたので、事故もなく、安心・安全な環境の下で利用に供することができた。 ・火災報知器の発報があったが、館内の利用者をスムーズに外に誘導し、混乱なく対応できた。消防が出動し誤発報であることがわかったが、日頃から非常時に対する防災意識が高いので、事故無く利用者の安全確保に努めることができた。	要求水準が満たされており、適切な施設・設備等の維持管理業務が行われている。

▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）

▼清掃業務に関しては、年3回、床のワックスがけの他、窓ガラス清掃等を第三者に委託し、日常の、施設内及び建物周辺の清掃は自前の職員により実施し、施設の快適な環境・衛生環境を維持した。

▼夜間警備業務に関しては第三者委託により実施し、夜間巡回警備員による巡回と機械警備により、夜間のセキュリティ対策を確保した。

▼自家用電気工作物、建築基準法法定点検、消防設備、エレベーター、ボイラー、舞台装置及び自動ドアの館内設備の保守点検業務については第三者委託により実施し、業務日報や検査報告書等で適切に実施されていることを確認し、仕様書の水準を維持した。

▼修繕に関しては、利用者の安全確保や利便性を損なうことなく、劣化や損傷を最小限に抑えることに努め、予算の範囲内で可能なものについては速やかに修繕を行った。

7年度においては、ビニールござ、網戸、吊戸棚、ウオシュレット等の交換の他、開いた穴をポスターなどで隠していた襖や壁のクロスを張り替えた。

▼備品に関しては、利用者の利便性を損なうことがないように日頃から点検し、不具合が生じた場合には、予算の範囲内で早めに修繕を実施又は耐用年数により新しいものを購入することで利用に支障をきたすことはなかった。

7年度に購入した備品は、エアコン2台、移動式バスケットゴール2台、サッカーゴール2台、ホワイトボード2台、空気清浄機、ゴミ箱7台等。

▼緑地管理に関しては、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を心掛け、剪定、除草、病虫害防除、冬囲いを適切に実施するため第三者委託により実施しているほか、職員による日常の点検に努めた。また、今年度から、センター西側花壇を開放し、地域住民の繋がりを創出することを目的に、地域住民が好きなように花や野菜を育てるなど楽しんで頂く花壇活性化事業を開始し、収穫したミニトマトでピザパイなどを作って収穫祭を祝った。

▼駐車場の除排雪業務に関しては、12月～3月の間、利用者の利便性を考慮し、一定の降雪量がある場合に第三者委託により実施した。

・専門的な管理業務技術の活用により、利用者も安全確保を最優先に、施設の自主点検に努めたほか、定期的な保守点検により、良好な管理環境を確保することができた。

・修繕・備品管理に関して十分な利益還元ができた。

▽ 防災

▼令和7年12月3日（水）に自営消防訓練を行い、各基本対応を共有し来館者の安全確保に対する心構えをより一層高めることができた。

▼令和7年12月9日（火）防火対象物点検報告特例認定検査を受け、3年間の特例認定更新ができた。

▼令和8年1月9日（金）消防機材点検業者を講師に招き、通報訓練と避難誘導要領を再確認した。

▼各種研修会に派遣するなど所定の防火・防災の取組を行った。

▼AED（自動体外式除細動器）の日常点検に努めた。

・自衛消防訓練や各種研修会の参加により、防災知識を深めるとともに、防災に対する意識の向上を図った。

・「防火対象物点検報告特例認定」施設として3年間の認定を受けることができた。

(4) 事業
の計画・実
施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

▼実施回数、参加数ともに昨年度を大きく上
回って開催することができた。

(1) 計画と実績

区分	R6実績	R7計画	R7実績	達成率
課目数	17	16	17	106.3%
回数	86	101	115	113.9%
定員又は受講人 数	327	287	345	120.2%

(2) 応募状況と受講者の満足度

講座名	回数	募集	受講者	参加率	理解度	満足度
ファット・バーニング①	8	25	26	104%	93%	100%
ヨガ講座ベーシッククラス①	7	20	29	145%	93%	100%
はじめてのピラティス①	7	15	25	167%	84%	92%
ジャイロキネシス®①	7	15	8	53%	85%	85%
初歩からはじめる太極拳	4	20	18	90%	61%	100%
3B体操講座	3	15	7	47%	100%	100%
こども空手体験講座	3	15	15	100%	83%	83%
はじめてのキッズバレエ	8	20	13	65%	100%	100%
女性のための健康麻雀	4	12	12	100%	92%	100%
ファット・バーニング②	8	25	26	104%	100%	95%
ヨガ講座ベーシッククラス②	8	20	29	145%	90%	95%
はじめてのピラティス②	7	15	15	100%	81%	91%
はじめてのピラティス(和室)	7	10	10	100%	66%	100%
ジャイロキネシス®②	7	15	13	87%	100%	100%
ファット・バーニング③	8	25	31	124%	100%	100%
ヨガ講座ベーシッククラス③	7	20	35	175%	90%	100%
はじめてのピラティス③	6	20	22	110%	93%	100%
ジャイロキネシス®③	6	20	11	55%	86%	100%
合計(18講座)	115	327	345	104%	89%	97%

A

B

C

D

区民講座につ
いて、理解
度、満足度と
もに高水準で
あり、課目数
や回数、定員
又は受講人数
も高い達成率
となってい
る。他事業に
ついては計画
を上回る実施
ができてい
る。

・新規に7講座を
開設。開催数も
前年度を大きく
上回る29回多い
115回開催し、
345人の方に受講
していただい
た。

・定員を超え
キャンセル待ち
の出る人気の講
座もあり、すべ
ての講座につい
て、理解度、満
足度ともに高い
評価を得ること
ができた。

・講座を開催し
たことで、サー
クルとして継続
利用に利用に繋
げることができ
たことは、市民
ニーズに応える
企画を提供でき
たものと考え
る。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

(1) 計画と実績

区分	R6実績	R7計画	R7実績	達成率
事業数	8	11	14	127.3%
回数	8	13	19	146.2%
参加者数	601	685	1,050	153.3%

(2) 主な事業の参加状況

事業名	回数	募集	参加者	来場者率
春のわくわくおはなし会	1	20	22	110%
花壇活性化事業 6月	2	20	23	115%
花壇活性化事業 7月	2	30	26	87%
花壇活性化事業 8月	2	30	20	67%
図書室夏休み企画 ガチャを回して本をかりよう	1	30	51	170%
花壇活性化事業 9月(収穫祭)	2	30	44	147%
ポールウォーキング体験会	1	20	14	70%
第31回文化祭	1	300	490	163%
作品展示会			242	
帯結び無料体験会			17	
白糸刺しゅう体験会			11	
舞台発表会			250	
花壇活性化事業 10月	2	30	33	110%
秋のわくわくおはなし会	1	30	42	140%
新春書き初め展示会	1	50	25	50%
新春本のおたのしみ袋	1	30	30	100%
冬休みコキアでホウキを作ろう	1	15	31	207%
第32回バレーボール大会	1	50	80	160%
小計(14事業)	19	480	1,050	121%

・幅広い年齢層や多種多様なニーズに応えた地域交流事業を実施することができた。新規に4つの事業を実施したことで参加者数も昨年度を大幅に上回ることができた。

・新規事業のうち花壇活性化事業は、介護予防センターや地域の自主活動グループなどと連携し、センターの花壇の一部を活用することで新たな地域住民の繋がりを創出することができた。

・ポールウォーキング体験会は、講師に一人一人の動作を確認してもらえたので非常に好評であった。センターの事業に参加するのがはじめての方も多くいたので、今後、センターのリピーターとして期待ができた。

・文化祭では、作品を展示するだけではなく、ワークショップを開催することでサークルの会員を増やすことができた。また、初めての試みのフードロス販売は、来場者を増やすだけではなく環境配慮の推進に寄与することができた。

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業（無料）に関する業務

事業名	R6実績		R7実績	
	開放日数	利用者数	開放日数	利用者数
囲碁	50	656	46	717
バレーボール	12	215	12	213
ミニバレーボール	12	160	12	165
ソフトバレーボール	13	208	12	192
バスケットボール	12	298	12	257
卓球	12	49	12	54
バドミントン	12	23	12	6
親子の日	12	257	12	290
夏休み特別開放 親子の日	4	76	7	58
夏と冬の自習スペース	14	45	12	46

・幅広い区民の交流の場として、囲碁は月4回、スポーツ系は各種月1回開放している。

・これまでもバスケットボールの利用は多かったが、移動式バスケットゴールを7月から導入したことで、親子の日の利用が増え、喜んでいただいている。バスケットボールは、ホール利用の半分を占めているほどの人気である。

・自習スペースについては、今年度、冬だけではなく夏も開放したが、利用は少数であった。リピーターが多かったことで、どのような周知をしていくかが課題となった。

・空きスペースの有効活用ではあるが、有料利用を優先しながら実施しており、適正な実施が図られた。

▽ 図書室業務

(1) 利用状況

区分	R6実績	R7実績	増減率
開館日数	279日	278日	0.99
蔵書数	35,146冊	35,389冊	1.01
登録者数	2,256人	2,468人	1.09
貸出数	79,917冊	92,893冊	1.16
相互貸借件数	14件	6件	0.43
レファレンス件数	953件	1,001件	1.05

(2) 利用促進事業

年間行事関連資料の展示 11件
 話題の展示 11件
 通年展示 3件
 室内装飾を季節や年間行事に即して実施 4件
 おはなし会等 4件

・登録者数のうち、新規登録者は353人で、半数以上が児童の登録である。

・児童本の貸出数が市内でも上位であるのは、子供向けの企画や、小学校の施設見学の際に図書室に興味を持ってもらう取組に努めた効果であると考え。

・貸出数が増えているのは、近隣の図書館が工事中であったため利用が増えたものである。

・蔵書数も予算の範囲内ではあるが、若干増やすことができた。引き続き、利用者に関心を持ってもらう取り組みを計画していきたい。

(5) 施設
利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
ホール	件数(件)	917	780	759
	人数(人)	20,699	18,500	19,497
	稼働率(%)	71.3	60.6	57.9
集会室	件数(件)	1,144	972	1,224
	人数(人)	11,111	9,444	10,673
	稼働率(%)	51.5	45.9	54.8
娯楽室 和 室	件数(件)	1,745	1,500	1,621
	人数(人)	12,078	11,000	11,832
	稼働率(%)	40.6	38.0	38.2
実習室	件数(件)	350	297	312
	人数(人)	2,839	2,200	2,748
	稼働率(%)	32.8	28.0	29.7
全 体	件数(件)	4,156	3,549	3,916
	人数(人)	46,727	41,144	44,750
	稼働率(%)	46.2	43.1	43.7

▽ 不承認0件、 取消し0件、 減免0件、 還付12件

▽ 利用促進の取組

・講座受講者等へのサークル化の呼びかけにより、利用継続につなげるなど新規利用獲得に努めた。

・高齢化によりサークルの継続が危ぶまれているケースもある中、文化祭や地区センターだより、ホームページでのサークル紹介等を活用し利用促進に努めたことにより会員が増えた団体もあり感謝されたケースもある。

・貸室の壁に大型の鏡を設置したことにより、ヨガ、バレエ、ダンス、着物の着付けなどのサークルから喜ばれ利用促進に繋がった。

・貸出し備品に新しくサッカーゴールと移動式バスケットゴールを導入したことにより、利用促進に繋げることができた。

・貸室のクロスやござシートの張替えをすることにより、気持ちよく利用していただけるよう部屋の修繕を行い利用促進に繋がった。

・全体に利用件数が減少したのは、7月からの利用料金の値上げが要因となっており、利用料金単価の高いホールの時間貸しの減少が顕著である。しかし、同時期に、サッカーゴールと移動式バスケットゴールの備品貸出しを開始したことにより、既存団体の利用継続と新規利用の獲得に繋げることができたので、値上げの影響を最小限に食い止めることができ利用料収入も増額とすることができた。

・集会室だけ利用件数が伸びているのは、ホール半面の利用から、利用料金を抑えた集会室全室の利用に変更したものや、前年度に壁に鏡を設置したこと、で、ニーズがあったものと思われる。

A

B

C

D

昨年度より稼働率が減少しているが、継続・新規利用の取り組みを行っており、使用料値上げの影響による適切な範囲内と判断できる。今後も稼働率上昇に向けた積極的な取組みに期待したい。

(6) 付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	▼地区センターだより（3,700部、例年3回発行）を地域町内会等に回覧するとともに、関係施設への配布や館内掲示により広報PRを行っている。 ▼講座等の行事・事業については、センターだより以外に、札幌市のイベント情報誌、タウン誌ふりっばー、新聞（道新ミニコミ紙ウォーク）、地区センター掲示板のポスターやチラシ、ホームページ上などで周知している。 ▼空き室情報はホームページ上で毎日更新している。 ▼ホームページは毎年、ウェブアクセシビリティの確保に努めており、取組確認を実施し公開している。 ▼施設内に設置している情報誌には、札幌市の施策に係る情報も掲載した。 ▼情報の取得媒体の状況は令和7年度のアンケート結果から次のとおりである。 ・地区センターだより27.2%、ポスター・チラシ11.28%、ホームページ15.62%、イベント冊子7.65%、ふりっばー29.3%、地デジ2.2%、その他6.9%であった。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定のため、引継ぎ業務無し	・情報の取得媒体はふりっばーが一番多く、次いで地区センターだよりであった。当センターの利用は70歳台が6割近いので、ホームページなどよりも紙媒体の方が情報を収集しやすいと思われることから、紙媒体への掲載依頼を積極的に行った。 ・7年度から地区センターだよりをカラー印刷にするなど工夫を凝らしているが、今後も内容の充実を図り、PR強化を図りたい。 ・今後も、ウェブアクセシビリティの確保に努めていきたい。	ホームページや紙媒体の広報を積極的に行うなど、適切に実施されている。

2 自主事業その他		A	B	C	D
▽ 自主事業	▼自販機販売手数料 自販機1台を設置して、清涼飲料水の販売を行っている。 収入額33,845円 支出額 17,160円（行政財産目的外使用料） ▼備品有料貸出し事業（令和7年7月開始） 移動式バスケットゴール2台、折畳み式サッカーミニゴール2台を設置し貸出しを行っている。 利用料金：1台あたり200円/1回（2台利用の場合は300円/1回） ※なお、ホール全面を利用するものは、利用時間を問わず、バスケットゴールとサッカーゴールを併せて4台のうち、2台までを無料で使用できるものとしている。 収入額10,100円	・利益は殆ど出ないが、利用者の利便向上に貢献した。 ・利用料金の改定に合わせて付加価値を付けるために開始した。 ・ホールの利用促進のために導入したが、これまで持ち込みしていたゴールを持参する必要がなくなったと利用団体には好評である。 ・当センターのバスケットゴールは固定式であるため、U12の利用には使い勝手が悪かったが、高さを変えられる移動式バスケットゴールであるので、新規の団体利用にも繋がった。 ・貸出料金収入は少ないが、ホールの利用促進のために導入したものであるため、備品の修繕費用などに充てる。	地域の企業の積極的な活用に努めているほか、福祉施策にも取り組んでいる。		
	▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼施設設備の簡易的な修繕に関しては、地元の企業に発注している。 ▼清掃用具、洗剤、衛生資材などは、西区内の障がい者雇用率が16.42%と法定雇用率を大幅に上回る企業に発注している。 ▼文化祭などの事業実施の際に、障がい者事業所が取り扱っている物品を販売している。 ▼高齢者の利用が多いことから、介護予防センター等と連携をとって事業を実施している。				

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

実施時期 令和8年2月
配布数 300人
回答者 254人

▼性別								
総数	男性	女性	無回答					
254人	31人	174人	49人					
100.0%	12.2%	68.5%	19.3%					
▼年齢								
総数	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	
249人	1人	4人	8人	19人	25人	48人	144人	
100.0%	0.4%	1.6%	3.2%	7.6%	10.0%	19.3%	57.8%	

結果概要

回答者の8割は近隣住民であった。

西野	平和	福井	山の手	西町	宮の沢	その他
48.4%	9.4%	8.3%	7.1%	3.6%	2.0%	21.0%

利用目的				
サークル	図書室	無料開放	講座/イベント	その他
59.9%	21.4%	6.0%	7.3%	5.5%

利用の満足度	←良い 5段階評価 悪い→				
	5	4	3	2	1
総合満足度	33.2%	39.8%	23.5%	3.1%	0.4%
職員接遇は	42.9%	27.0%	27.0%	2.2%	0.9%
館内設備は	36.1%	34.8%	26.0%	1.8%	1.3%
清掃状況は	48.9%	26.0%	21.1%	3.1%	0.9%
	ぜひ利用したい	利用したい	どちらかという	どちらでもない	利用したくない
貸室利用したいか	43.5%	30.4%	7.9%	17.8%	0.5%
図書室利用したいか	37.6%	24.9%	11.7%	23.4%	2.4%

・左記のとおり、職員全員が丁寧な対応を心掛けたことにより概ね高い評価を得たが、いただいた意見を大切に今後もより一層市民サービスの向上に努めたい。

A B C D

利用の満足度において全ての項目において95%以上と高い評価が得られている。また意見や要望にも真摯に対応しており評価できる。

利用者
からの
意見・
要望と
その対
応

意見・要望	対 応
和室を、洋室のような壁の色（白）じゃなくて、もっと暗めの色にしてほしいと思いました。あと和室の電気はLEDになりませんか。少し部屋の中が暗く感じます。	LED化は札幌市で、順次、進めておりますので工事の時期が来ましたらお知らせいたします。壁の色など設備に関しては、ご要望に添えない場合もございますがご理解をお願いいたします。
娛樂室にスリッパかサンダルを置いてほしい	早速、館内用のスリッパを各部屋に設置いたしましたのでご利用ください。
カレンダーが無くなって不便です	クロスの張り替え時に、画紙の穴を開けないように撤去しましたが、改めて、壁紙をはがさないテープで貼付いたしました。
和室にもエアコンがあると嬉しいですよ	令和8年4月に、和室A、Bに各1台ずつ設置いたしました。
フラワーアレンジメントの写メを撮る時に、照明が黄色めに写るので残念に思います。蛍光色をお願いします。	和室は温かみのある電球色を使用しております。当面変更は難しいですが、LED化で全面交換する際に変更について検討いたしますのでご理解をお願いいたします。
夏の暑さが大変でした	エアコンは予算の範囲内で順次計画的に設置しており、令和7年度は娛樂室に2台設置し、令和8年度は和室に2台設置いたします。また、体育室は大型扇風機で対応しておりましたが、熱中症対策として大型冷風機を2台設置します。夏の暑い時期でもスポーツを楽しんで頂けるよう施設の維持に努めてまいります。
隣室との仕切りが薄くて隣室の音がみな聞こえてくるので十分な活動が出来ない状態である。	ご要望の趣旨は十分理解しておりますが、予算上、完全な個室になるような改築工事を行う予定はございません。隣室の音が気になる場合は、両方のお部屋を予約してお使いいただくなどご理解のほどよろしくお願いいたします。
会場費安くお願いします	
料金が高すぎる安くしてほしい、値上げが大き過ぎ	札幌市の条例改正で利用料金が改定となりました。施設を維持するための経費が大幅に増えているため、将来に渡って安定的なサービスを維持するためにもご理解のほどよろしくお願いいたします。
利用料が上がらなければいいと思います。	
利用料が値下げをお願いします。	
10月の文化祭のステージ発表はいつも同じサークルだけでマンネリ化していると感じます。多分観客の方も出演者の関係の方が多いのではと思います。もう少し魅力のある変化がある発表会になったら良いのと思います。	ステージ発表の出演者の方が年々減り苦慮している現状はありますが、ご意見の趣旨を生かし、魅力あるステージ発表になるように企画検討してまいります。
私には場所が便利な方	ありがとうございます。今後ともご利用をお待ちしております。
駐車場が広く除雪が綺麗で助かります	ありがとうございます。できる限り広く除雪し、ご利用される方々に喜んでいただけるよう努めてまいります。
毎年アンケートを取ってますが、反映されてるのでしょうか？地区センターによって掃除有無があるのは何故？同じ金額なのに納得いきません。いつになったらネットで予約が出来るのでしょうか？	使用後の片づけについて説明が不十分で申し訳ございません。説明について再度徹底するよう心がけ、ご要望の趣旨を反映した運営に努めてまいります。施設の受付手続き方法につきましては、札幌市の仕様に基づきおこなっており、ネット予約についてのご意見は札幌市の所管課にお伝えいたします。

	これからよろしくお願いいたします。特にはないです。	ありがとうございます。今後ともご利用をお待ちしております。
	予約のふりかえなど臨機応変対応してほしいです。	振替を行うケースはございますが、公平性を保つため条件がございますので、ご理解をお願いいたします。
	毎月2回の囲碁では大変お世話になっております。ありがとうございます。	ありがとうございます。今後ともご利用をお待ちしております。
	とても親切な人と、そうでない人がいる。	対応の違いがあり申し訳ございません。スタッフ一同丁寧な対応を心掛けていけるよう努めてまいります。
	囲碁の開放日を増やしてほしい	施設活用事業（無料）は空き室の有効活用事業です。囲碁は月4回開放しておりますが、空き室の範囲内でご利用を頂いておりますので開放日が減る場合もございます。ご理解をお願いいたします。
	私は図書室しか利用していませんが、職員の方々の対応がいつも丁寧で、とても気持ちよく利用させてもらっています。	ありがとうございます。今後もスタッフ一同丁寧な対応を心掛けてまいります。ご利用をお待ちしております。
	古くなった本の処分はどうしているのか？	こちらで処分の判断ができないので、所管の中央図書館で、再利用の判断をしております。
	他の図書館から取り寄せ出来るのが便利でありがたいです。	ありがとうございます。今後ともご利用をお待ちしております。
	秋田の中嶋記念図書館や江別の蔦屋書店みたくテンション上がる施設となってくれと嬉しい。	地区センター図書室でできることには限りがありますが、ご利用される方々に喜んでいただけるよう努めてまいります。ご意見は、所管の札幌市中央図書館にお伝えいたします。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	38,425	43,581	5,156
指定管理業務収入	38,355	43,537	5,182
指定管理費	27,060	27,060	0
利用料金	9,980	13,030	3,050
その他	1,315	3,447	2,132
自主事業収入	70	44	▲ 26
支出	38,357	44,571	6,214
指定管理業務支出	38,355	44,383	6,028
自主事業支出	2	188	186
収入-支出	68	▲ 990	▲ 1,058
自主事業による利益還元			
法人税等	0	0	0
純利益	68	▲ 990	▲ 1,058

【参考】	R7年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	3,248	下記のとおり

▽ 説明

▼利用料金収入は、令和7年7月の料金改定により利用件数は減ったが、利用料金収入の大半を占めるホールの利用が減らないように移動式バスケットゴールやサッカーゴールの備品を整備したことで、新しい利用者の利用にもつながり、前年度の1,800千円増となった。

▼その他収入は、光熱費高騰や賃金スライド分の補填と、講座収入によるもので、講座収入については、年度途中で講座を増やす等、利用促進に努め279千円の増収につながった。

▼自主事業収入は、自販機の販売手数料と7月から始めた備品貸出し事業の収入である。

▼指定管理業務支出は、計画に比して6,028千円の増となっているが、これは、人件費の上昇や、建物の老朽化に伴う修繕費(1,753千円)、備品を更新(1,665千円)したことによるもので、その費用は札幌市からの補てんと前年度からの余剰金を充当している。

▼自主事業支出は、自販機設置に伴う行政財産目的外使用料の17千円と、備品の購入費用である。

▼利益還元は、エアコン2台(926千円)、空気清浄機(146千円)、バスケットゴール2台(59千円)、サッカーゴール2台(111千円)、襖、クロス張替(812千円)、ビニールごさ交換(247千円)ウォシュレット、網戸交換(390千円)等の購入に充てたものである。

▼収支は差引き990千円の単年度赤字となった。

・利用料金収入については、令和7年7月に料金改定が予定されていたことから前年度収入の85%で見積もっていたが、移動式バスケットゴールやサッカーゴールなどの備品整備の他、年度途中で講座を追加開催するなど利用促進の取組成果があり、増収とすることができた。

・指定管理業務における余剰金は、利用者の要望に応えるため、備品購入や修繕に充てる形で還元することができた。

・さらに、内部努力による経費節減に努め、自主事業の備品貸出し事業の備品購入費を捻出し、令和7年7月より開始した。

・資金管理は、税理士に委託し、客観的に確認を行っているため、正確を期した管理運営を行うことができた。

A	B	C	D
単年度で見ると収支は赤字となっているが、過年度の剰余金から昨年に引き続き多額の利益還元を行っているものであり、安定した収支状況を継続してきた結果の表れと言える。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼財政状況は、利用料収入、講座収入が安定しており、加えて、経費の節減に努め支出を抑制しており、安定経営の基盤が整っている。

適

不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼各条例の規定に則り、すべて適切に対応した。

▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適

不適

III 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
▼指定管理業務全般にわたり、札幌市の公の施設であることを常に念頭に置き、サービス水準の維持向上に努め、安定的な管理運営及び透明性の確保を第一としたことは、管理業務仕様書の要求水準を満たすことができたと考えている。 ▼利用料金収入及び講座収入は自主事業の新規開始や新規講座の開設などにより、目標を上回るなど安定した収入を確保できたことで、備品購入費などの形で積極的に利益還元することができた。 ▼施設の老朽化により設備関係を中心に修繕が必要な箇所が多く発生したが、利用者の利便性を考え、速やかに補修し利用に支障をきたすことはなかった。設備環境や衛生面に配慮したことで、稼働率の増加にも繋がったと考えている。 ▼要望の多かった暑さ対策についても、予算の範囲内で計画的な実施に努めることができた。 ▼利用者アンケートでは、概ね高い評価を得ることができたが、頂いた要望等で、対応が難しいものについては、背景や理由を丁寧に説明し理解を求めている。 ▼労働環境の整備として、交代制による清掃パート職員を2人体制から3人体制としたところだが、館内の清掃美化に努めるため勤務時間帯の変更及び勤務時間の延長をし、職員の負担軽減と雇用環境の整備を図った。	▼引き続き、札幌市のコミュニティ施設として公平・公正な運営に努めるとともに、地域に親しまれる施設づくりを目指す。 ▼令和8年度にセンターの外部改修工事が開館の状態で行われるため、騒音や窓が開けられない、駐車場の一部が使えないなど利用に支障が出るが、利用者への丁寧な説明と事前対策を講じ、安定的な稼働率確保に努めたい。 ▼人気講座の継続とともに、各年齢層に対応した講座を企画し、新たな受講促進と、加えて、貸室利用につなげるため、講座を通じたサークル化を支援したい。 ▼施設設備修繕と備品の更新について、計画的に実施したい。特に8年度は外部工事が実施されるので暑さ対策の備品購入を優先したい。 ▼利用者に親切で丁寧な対応を心掛け、気持ちよく利用していただける施設となるよう、職員のスキルアップを図る。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
収支状況が安定しており、積極的な利益還元が継続し実施されていることが高く評価できる。利用者の意見を真摯に受けとめ高い総合満足度を得ており、適切な運営が行われているといえる。今後も継続・新規利用を目指した事業展開や広報活動などにより、貸室利用率の向上に繋げていただきたい。	